

午 前

問 題

◎指示があるまで開かないでください。

◎午前の試験問題数は 56 問で、解答時間は 1 時間 35 分です。

社会福祉概論

問題 1 我が国の戦後の社会福祉制度の成立に関する次の記述のうち、適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 昭和22年に制定された児童福祉法は、保護の国家責任と自立助長を初めて明文化した。
- B 昭和24年に制定された身体障害者福祉法により、家庭奉仕員制度が創設された。
- C 昭和25年に制定された（新）生活保護法により、困窮に陥った原因を問わず保護を受ける権利を有することとなった。
- D 昭和26年に制定された社会福祉事業法は、連合国軍総司令部（GHQ）により示されたいわゆる「6項目」の要求を背景としている。

（組み合わせ）

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

問題 2 社会福祉・社会保障制度の適用年齢に関する次の記述のうち、正しいものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 児童福祉法に規定される児童とは満18歳未満の者であるが、児童福祉施設では18歳を超えた者が措置されることがある。
- B 障害者自立支援法に規定される障害児とは、障害がある20歳未満の者とされている。
- C 介護保険法に規定される第一号被保険者は、65歳以上とされている。
- D 厚生年金保険の加入者は、満20歳以上65歳未満とされている。

（組み合わせ）

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

問題 3 福祉サービスにおける利用者負担に関する次の記述の空欄A, B, Cに該当する語句の組み合わせとして、正しいものを一つ選びなさい。

社会福祉における利用者負担は、制度の趣旨を逸脱した利用による「A」を防止し、社会資源の有効活用を促すなど様々な目的のために導入されている。今日の利用者負担の主な考え方として、提供されたサービスから得た利益に応じてその費用を負担する「B」があり、この考え方を採用した制度の代表的なものとして「C」がある。

- | | A | B | C |
|---|---------|------|--------------|
| 1 | 漏給 | 応益負担 | 児童福祉法の措置 |
| 2 | 漏給 | 応益負担 | 生活保護法の措置 |
| 3 | モラルハザード | 応能負担 | 生活保護法の措置 |
| 4 | モラルハザード | 応益負担 | 介護保険法のサービス利用 |
| 5 | モラルハザード | 応能負担 | 介護保険法のサービス利用 |

問題 4 社会保険制度とその関係機関に関する次の組み合わせのうち、誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 全国健康保険協会管掌健康保険——職域保険——社会保険事務所
(旧政府管掌健康保険)
- 2 雇用保険——地域保険——労働基準監督署
- 3 労働者災害補償保険——職域保険——労働基準監督署
- 4 国民健康保険——地域保険——市町村・国民健康保険組合
- 5 国民年金——地域保険——社会保険事務所

問題 5 社会福祉調査に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A ブース (Booth, C.) はイギリスのロンドン市で貧困調査を実施し、貧困の原因は個人の道徳問題が主であることを解明した。
- B ラウントリー (Rowntree, B.) は、イギリスのヨーク市で貧困調査を実施し、相対的剥奪による貧困の再発見に寄与した。
- C 社会福祉調査は、社会福祉援助技術の中の間接援助技術の一つとして位置づけられる。
- D 社会福祉調査では、統計的な分析だけでなく、現場に足を運び状況を具体的に記述する社会踏査も重要である。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	○	×	×
3	○	×	○	○
4	×	○	×	○
5	×	×	○	○

問題 6 平成19年の社会福祉士及び介護福祉士制度の見直しに関する次の記述のうち、誤っているものを一つ選びなさい。

- 1 介護福祉士の定義規定の条文では、従来の「入浴、排せつ、食事その他の介護」から「心身の状況に応じた介護」に改められた。
- 2 介護福祉士の養成施設等の教育内容が見直されることとなった。
- 3 個人の尊厳の保持や利用者の立場に立った日常生活における自立支援など、「誠実義務」が新たに規定された。
- 4 福祉サービス及び保健医療サービス等の様々な関係者との連携など、「連携」について見直された。
- 5 「資質の向上の責務」が義務づけられ、一定期間後に資格の更新が必要となった。

問題 7 社会福祉法における民間活動に関する次の記述のうち、適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 民生委員は、市町村長の推薦を受けて、都道府県知事によって委嘱される。
- B 国民の助け合い運動を起源とする共同募金については、寄付者の自発的な協力を基礎としなければならない旨が規定されている。
- C 特定非営利活動促進法（NPO法）の施行に伴い、特定非営利活動法人が第一種社会福祉事業の経営主体となった。
- D 社会福祉協議会は、地域福祉の推進を図ることを目的とする団体である。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

問題 8 福祉サービス等の苦情解決に関する次の記述のうち、適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 介護保険サービスにかかわる苦情解決は国民健康保険団体連合会で行うため、運営適正化委員会は介護保険にかかわる苦情は受け付けないこととされている。
- B 運営適正化委員会は、苦情解決の申出があったときは、申出人及びその申出人に対してサービスを提供した者の同意を得て、苦情解決のあっせんを行うことができる。
- C 運営適正化委員会は、苦情の解決に当たり、当該利用者の処遇につき不当な行為のおそれの有無にかかわらず、速やかに都道府県知事にその旨を通知しなければならない。
- D 日常生活自立支援事業には、福祉サービスの利用に関する苦情解決制度の利用援助が含まれる。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

老人福祉論

問題 9 Nさんは、要介護1の認定を受けており、自立歩行が可能であるがふらつきがあり、また、起居動作に時間がかかる。次の記述のうち、Nさんに対する介護保険制度の福祉用具の活用に関する介護支援専門員の対応として、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 外出を容易にするために、電動車いすの貸与を受けるよう助言した。
 - B 布団による生活からベッドでの生活に転換するため、電動ベッドの貸与を提案した。
 - C 自立歩行の安定のために歩行補助つえが有効と思われたので、つえについての情報を提供した。
 - D 福祉用具の活用方法について、リハビリテーションの専門職の意見を聞くよう勧めた。
- (組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | × | ○ | × |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問題 10 高齢者関連の法律に関する次の記述の空欄A、B、Cに該当する語句の組み合わせとして、正しいものを一つ選びなさい。

老人福祉法の目的には、「老人に対しその「A」のために必要な措置を講じ」ることが規定されている。また、同法の基本的理念の一つには、「老人は、その希望と能力とに応じ、適当な仕事に従事する機会その他「B」に参加する機会を与えられる」こと等が規定されている。介護保険法の目的には、要介護者等が、「尊厳を保持し、その有する能力に応じ自立した「C」を営むことができるよう」必要な給付を行うことが規定されている。

- | | A | B | C |
|---|-----------------|-------|------|
| 1 | 心身の健康の保持及び生活の安定 | 社会的活動 | 日常生活 |
| 2 | 心身の健康の保持及び生活の安定 | 社会的活動 | 社会生活 |
| 3 | 心身の健康の保持及び経済的安定 | 経済的活動 | 日常生活 |
| 4 | 医療の確保及び生活の安定 | 経済的活動 | 社会生活 |
| 5 | 医療の確保及び心身の健康 | 社会的活動 | 日常生活 |

問題 11 介護保険法に基づく次の事業所のうち、市町村長がその事業者の指定を行うものとして、正しいものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 介護予防サービス事業所
- B 介護予防支援事業所
- C 認知症対応型共同生活介護事業所
- D 特定福祉用具販売事業所

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 A D
- 4 B C
- 5 B D

問題 12 近年の介護サービスの整備・充実等に関する次の記述のうち、適切なものを一つ選びなさい。

- 1 高齢者の「社会的入院」問題は、療養病床の制度ができたことで初めて社会的な問題となった。
- 2 「社会的入院」問題の解消を目指して、医療に重点を置いたケアの必要性が高まった。
- 3 老人保健施設（現介護老人保健施設）は、看護、介護、機能訓練に重点を置き、医療ケアと日常生活サービスを提供するために創設された。
- 4 訪問介護は、医学的管理の下における介護その他の世話をを行う。
- 5 介護保険制度の創設で、「介護療養型医療施設」は介護保険施設となり、医療法に基づく病院ではなくなった。

問題 13 ユニット型指定介護老人福祉施設に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 少数の居室を組み合わせて構成された場所をユニットという。
- 2 便所は、居室に設置しなければならないことになっている。
- 3 ユニットごとに、常勤のユニットリーダーを配置することになっている。
- 4 入居者の生活は、プライバシーの観点から、なるべく地域社会との関係を持たないように工夫する。
- 5 食事はユニットごとではなく、施設全体の食堂でとることとされている。

問題 14 次の記述のうち、平成17年の介護保険法の改正で法令上初めて示されたものとして、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 グループホーム
- 2 自立支援
- 3 ゴールドプラン21
- 4 地域包括支援センター
- 5 市町村介護保険事業計画

問題 15 介護保険制度に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 通所介護の介護報酬の算定は、1日単位であり、サービスの提供時間による差はない。
- 2 介護予防訪問介護の介護報酬の算定は、月単位である。
- 3 特定施設入居者生活介護の介護報酬と介護老人福祉施設の介護報酬は同じである。
- 4 介護老人福祉施設では、低所得者に対して、居住費等の負担の軽減は行われない。
- 5 居宅療養管理指導の報酬は、医療保険から支払われる。

問題 16 介護保険制度の居宅サービス計画に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 居宅サービス計画が作成されていない場合は、介護保険制度による居宅介護サービスの給付を受けることができない。
- 2 居宅サービス計画の利用者の同意は口頭でもよい。
- 3 居宅サービス計画は、介護支援専門員の指導の下に、居宅介護支援事業所の従業員であれば作成することができる。
- 4 居宅サービス計画に訪問看護等の医療サービスを位置づける場合には、医師の指示が必要である。
- 5 居宅サービス計画は個人情報保護の観点から、原則として居宅サービス事業者に交付することはできない。

問題 17 「国民生活基礎調査（平成16年）」の要介護者等を介護している主な介護者に関する次の記述のうち、適切なものを一つ選びなさい。

- 1 要介護者等と同居している家族等介護者よりも、別居している家族等介護者の方が多い。
- 2 主な介護者と要介護者等との続柄については、「子の配偶者」が最も多い。
- 3 要介護者等と同居している主な介護者の性別については、女性よりも男性が多い。
- 4 要介護者等と同居している主な介護者の半数以上は、60歳以上の者である。
- 5 要介護5の要介護者と同居している主な介護者で、「ほとんど終日」介護をしているのは2割程度である。

問題 18 シルバー人材センターに関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 厚生労働大臣が、市町村ごとに指定する公益法人である。
- 2 高年齢退職者に対し、臨時的かつ短期的な就業の機会又はその他の軽易な業務に係る就業の機会を提供する。
- 3 高年齢退職者のために、有料の職業紹介事業を行うこととされている。
- 4 別名、高齢者能力開発情報センターともいわれる。
- 5 高齢社会対策基本法に基づいて設置されている。

障害者福祉論

問題 19 障害者の権利等に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 「障害者の権利宣言」は、1970年の第25回国連総会において決議された。
- 2 国連は、1990年からの10年を「国連障害者の十年」とした。
- 3 「国連障害者の十年」に先立ち、アメリカ合衆国はADA（障害をもつアメリカ人法）を制定した。
- 4 障害者基本法では、障害者を身体障害又は知的障害のある者とした。
- 5 「障害者の権利に関する条約」は、2006年の第61回国連総会において採択され、2007年には日本政府も署名した。

問題 20 障害者基本計画に関する次の記述のうち、正しいものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 平成15年度から平成21年度までの7か年の計画である。
- B 重点的に取り組むべき課題の一つとして、アジア太平洋地域における域内協力の強化について記述している。
- C 情報のバリアフリー化の推進について記述している。
- D 施設サービスに関しては言及していない。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

問題 21 障害者の外出支援に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 道路交通法では、身体障害者用の車いすは、自転車と同じ軽車両に区分される。
- 2 道路交通法では、目が見えない者が道路を通行するときは、介護者が同行する場合以外は、つえを携え、又は盲導犬を連れていなければならない。
- 3 身体障害者補助犬法では、身体障害者補助犬を盲導犬及び介助犬の2種類としている。
- 4 視覚障害者誘導用ブロックのうち、線状ブロックは、段差の存在等の警告又は注意喚起を行うために路面に敷設される。
- 5 視覚障害者誘導用ブロックの表面の色彩は、原則黄色とする。

問題 22 障害者自立支援法の地域生活支援事業に関する次の記述のうち、正しいものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 地域の特性や利用者の状況に応じた柔軟な事業形態によるサービス提供を目的としている。
- B 重度障害者等の日常生活上の便宜を図るため、日常生活用具の給付事業がある。
- C 身近な市町村を中心としているため、都道府県が実施する事業はない。
- D 障害者に対しての住居の利用のための地域生活支援事業として、共同生活援助（グループホーム）、共同生活介護（ケアホーム）の2種類がある。

（組み合わせ）

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

リハビリテーション論

問題 23 次の記述のうち、廃用症候群に該当するものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 変形性関節症
- B 褥瘡
- C 貧血
- D 筋力低下

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

問題 24 身体障害に関する次の記述のうち、正しいものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 脊髄損傷は、自律神経障害の原因となる。
- B 二分脊椎は、排尿障害の原因となる。
- C 虚血性心疾患は、脳血管障害の原因となる。
- D 高血圧は、パーキンソン病の原因となる。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

問題 25 失語症に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 定型化しているあいさつや感情的な言葉は障害されやすい。
- 2 失語症者の聴覚的理解を補うには、簡単なはっきりした言葉でゆっくりと話しかける。
- 3 聴覚障害から生じる音声言語の不正確さ、明瞭度の低下は、失語症に含まれる。
- 4 パーキンソン病による口のこわばりは、失語症に含まれる。
- 5 重度障害者用意思伝達装置を補装具として利用することが効果的である。

問題 26 国際生活機能分類（ICF）に関する次の記述のうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 国際障害分類（ICIDH）に対する批判をきっかけとして、障害当事者の参加を得て検討された。
- 2 国際障害者年の時期に、世界保健機関（WHO）総会で採択された。
- 3 国際障害分類における機能障害を心身機能・構造の機能障害、能力障害を参加の制約、社会的不利を活動の制限と置き換えた。
- 4 障害に対する個人因子による影響が大きいことを受け止め、環境よりも個人を変えていくことを重視している。
- 5 個人因子とは、人々が生活し、人生を送っている物的な側面や社会的側面、人々の社会的な態度による側面を構成する因子である。

社会福祉援助技術（演習を含む。）

問題 27 社会福祉援助技術に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 社会福祉援助技術は、利用者がその人らしく生活し、よりよい生活を実現するための支援の過程である。
- B コミュニケーション技術は、援助関係を形成する上で重要である。
- C 直接援助技術には、ケースワークとグループワークがある。
- D 間接援助技術が中心であり、直接援助技術は補完的役割を果たす。

（組み合わせ）

	A	B	C	D
1	○	○	○	×
2	○	×	×	○
3	×	○	○	○
4	×	○	○	×
5	×	×	×	○

問題 28 個別援助にかかわる援助者の基本的態度に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 利用者の置かれている環境は多様であり、その特殊性を配慮することはない。
- 2 援助者は、自分の価値観や判断を根拠に援助を行う。
- 3 利用者が自己決定の困難な状況のときには、援助者が判断することが基本である。
- 4 利用者の感情的反応に対して、援助者は冷静になるように説得しなければならない。
- 5 利用者に関する情報については、本人から収集することが基本である。

問題 29 日本介護福祉士会の倫理綱領からの抜粋に関する次の記述の空欄A, B, Cに該当する語句の組み合わせとして、正しいものを一つ選びなさい。

介護福祉士はすべての人々の「A」を擁護し、一人ひとりの住民が心豊かな暮らしと老後が送れるよう、「B」の立場から「C」を最大限尊重し、自立に向けた介護福祉サービスを提供していきます。

- | | A | B | C |
|---|-------|-------|------|
| 1 | 生存権 | 介護福祉士 | 自己選択 |
| 2 | 生存権 | 利用者本位 | 自己決定 |
| 3 | 生存権 | 利用者本位 | 自己選択 |
| 4 | 基本的人権 | 利用者本位 | 自己決定 |
| 5 | 基本的人権 | 介護福祉士 | 自己決定 |

問題 30 次の人物とその業績等に関する組み合わせのうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 アダムズ (Addams, J.) —— トインビーホールの初代館長
- 2 バーネット (Barnett, S.) —— YMCAを創設
- 3 ニューステッター (Newstetter, W.) —— ニーズ解決のプロセス重視
- 4 ロス (Ross, M.) —— 地域援助技術モデルの3分類
- 5 横山源之助 —— 『日本之下層社会』の著者

問題 31 個別援助技術に関する次の記述のうち、適切でないものを一つ選びなさい。

- 1 利用者の理解のために援助者自身の自己覚知が求められる。
- 2 援助者は、常に利用者を指導する立場にある。
- 3 利用者の援助の過程には、面接、アセスメント、契約、介入が含まれる。
- 4 援助者は偏見や先入観を排し、利用者を個人として理解する。
- 5 援助者に対するスーパービジョンのためにも記録が重要な意味をもっている。

(社会福祉援助技術 (演習を含む。)・事例問題)

訪問介護に関する次の事例を読んで、問題32から問題34までについて答えなさい。

〔事例〕

Eさん(女性、85歳)は、20年前に夫と死別した。現在、近くに住んでいる孫が時々訪れている。両下肢筋力低下、骨粗鬆症のため以前腰椎の圧迫骨折をしたことがあるが、伝い歩きは可能で自室近くにあるトイレには自分で行っている。視力・聴力にも問題はないが、意思疎通がはかれないことがしばしばある。要介護3と認定されており、毎日訪問介護を利用しながらアパートで一人暮らしを続けている。

ある冬の寒い日、いつものようにP訪問介護員(以下「P介護員」という)が訪問すると、トイレからEさんのベッドまで床や手すりが便で汚れていた。Eさんは、ベッドの中で毛布にくるまって横になっていたが、P介護員が声をかけると、「今日は寒いのに、のりちゃん(緊急連絡先の孫の名前)よう来たねえ」と返事が返ってきた。

問題 32 次の記述のうち、P介護員がEさんにとるべき態度として、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 「のりちゃんではありません。介護員のPです」と、Eさんに自分の顔を確認してもらおう。
- 2 「お部屋中ひどく汚れていますよ。どうしてこんなことをしたのですか」と、Eさんに理由を直接聞く。
- 3 「今朝も寒かったですね。具合はいかがですか」と、Eさんの言ったことを受け止める。
- 4 認知症の疑いがあるので、すぐに改訂長谷川式簡易知能評価スケール(HDS-R)を実施してみる。
- 5 Eさんがひどく汚れているため、清潔にすることが優先であり、Eさんとの会話は後にする。

問題 33 P介護員からの報告を受けた訪問介護事業所のサービス提供責任者（介護福祉士）の対応に関する次の記述のうち、適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A Eさんの自宅を訪問し、Eさんの身体的な状況や心理・社会的状況の変化について把握する。
- B 孫に連絡を入れ、再々このようなことが起こると訪問介護員が困るので、施設入所を勧める。
- C Eさんの居宅サービス計画（ケアプラン）を作成した介護支援専門員に、現在のEさんの状況について相談する。
- D 次回の訪問から、Eさんにおむつを当てて、しばらく様子を見るようにとP介護員に伝える。

（組み合わせ）

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

問題 34 サービス提供責任者は、本人や家族を交えてEさんの訪問介護計画を見直すこととした。今後の援助過程に関する次の記述のうち、適切でないものを一つ選びなさい。

- 1 介護支援専門員が既に作成した居宅サービス計画を踏まえ、再アセスメントし、訪問介護計画の見直しを行う。
- 2 訪問介護計画の見直しに際しては、P介護員の視点を優先して援助目標を立案する。
- 3 見直した訪問介護計画の内容をEさん及びその家族等と再度確認する。
- 4 見直した訪問介護計画をもとに、P介護員と同行訪問し、援助内容が訪問介護計画の目標やケア内容と相違しないかモニタリングする。
- 5 援助を実施したP介護員と共に、援助に関する評価を行う。

レクリエーション活動援助法

問題 35 レクリエーションの発展過程に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 国際レクリエーション協会の「レジャー憲章」において、レジャーに対する権利が示された。
- B アメリカでは、プレイグラウンド運動によってレクリエーションが普及した。
- C イギリスでは、レクリエーション運動の中でセツルメント活動が生まれ、発展した。
- D 日本では、第二次世界大戦後、日本レクリエーション協会が設立され、地域、学校、職域で活動を展開した。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | ○ |
| 3 | ○ | × | ○ | ○ |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | ○ | × |

問題 36 レクリエーション活動援助計画の立案に関する次の記述のうち、適切でないものを一つ選びなさい。

- 1 利用者の思いや願いを反映させる。
- 2 利用者や家族からの聞き取りや行動の観察などを通して、情報を得る。
- 3 レクリエーション活動によってQOL（生活の質）の向上を図るという視点から、情報を得る。
- 4 利用者がレクリエーション活動を楽しみ、より生き生きとした生活を継続できるようにする。
- 5 利用者それぞれのニーズに応えるのは困難であるので、画一的なプログラムを立てる。

問題 37 介護予防通所介護費にかかる次の加算のうち、レクリエーション活動援助を展開するにあたり、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 栄養改善加算
- 2 運動器機能向上加算
- 3 事業所評価加算
- 4 アクティビティ実施加算
- 5 口腔機能向上加算

(レクリエーション活動援助法・事例問題)

次の事例を読んで、問題38から問題40までについて答えなさい。

〔事例〕

一人っ子のFさん（39歳，男性）は，スポーツ万能で成績も優秀であった。大学卒業後，大手企業に勤務していた。結婚を3か月後に控えた29歳の時，プールへ飛び込んだ際，頸髄を損傷して四肢麻痺となった。受傷前は婚約者と映画を一緒に見に行ったり，自分たちの子供を夢見て語り合ったりしていたが，受傷から1年後，自ら婚約を破棄した。

2年前の37歳の時に身体障害者療護施設に入所した。パソコンで各種ホームページを見る生活が中心であり，施設内での行事への参加には積極的ではないが，様々な情報を収集して施設内で啓発する役割には生きがいをもっている。最近「若いころは楽しかった」と漏らす。昨年，父親を亡くした際，「親戚，友人や同窓生に会いたくない」と通夜や葬式の参列を拒んだことから，唯一の肉親である母親との面会は途絶えている。パソコンでメールをやりとりしている友達はあるが，自分に障害があることを伝えてはいない。

問題 38 次の記述のうち，レクリエーション活動援助を計画する際に，Fさんの現状を把握したものとして，最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 受傷後には婚約を破棄したが，今は新たな出会いを強く求めている。
- 2 プールで受傷したが，できたら若いころのように泳ぎたいと願っている。
- 3 パソコンでメールをやりとりしている友達とは会っていないが，何でも相談している。
- 4 受傷前は楽しい日々を送っていたが，今は施設での役割を担い，生きがいとしている。
- 5 一人残された母親の将来が不安だが，一緒に趣味を探そうとしている。

問題 39 今後のFさんに対する社会参加を推進するためのレクリエーション活動援助に関する次の記述のうち，適切でないものを一つ選びなさい。

- 1 施設内のクラブやサークルへの参加を働きかける。
- 2 同窓会に積極的に参加するよう働きかける。
- 3 近隣のイベント情報を入手し，施設や他の利用者に発信するよう働きかける。
- 4 映画鑑賞会を企画し，パソコンで案内状を作成するよう働きかける。
- 5 インターネットを利用した交流を働きかける。

問題 40 Fさんとの接し方に関する次の記述のうち、適切でないものを一つ選びなさい。

- 1 思いや望みを聴くような機会を多くもつ。
- 2 彼岸などの時期に墓参りへの声かけをする。
- 3 メールを個人的に交換できるようにアドレスをもらう。
- 4 母親と面接することについて話題にする。
- 5 外出プログラムへの働きかけを行う。

老人・障害者の心理

問題 41 老化に伴う心理と適応機制に関する次の組み合わせのうち、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 他の人との間に生じる劣等感情を、優越感情で補おうとする。——補償
- 2 忍耐力や抑制がきかなくなることにより、人に依存する。——反動形成
- 3 新しいことをなるべく避けようとする。——投射
- 4 認めることのできない欲求を、他人の中にある欲求と考える。——抑圧
- 5 自分の不安や緊張、葛藤などから逃げ出すことで安定を図る。——合理化

問題 42 現実見当識訓練 (Reality Orientation : RO) に関する次の記述のうち、適切でないものを一つ選びなさい。

- 1 見当識障害を改善し、現実認識を高めることがねらいである。
- 2 24時間ROは、認知機能の障害が同じ程度のグループで行う。
- 3 名前や年齢、物の名前などの基本情報の反復学習を行う。
- 4 混乱や失敗に対しては、肯定的・受容的に対応する。
- 5 教室ROでは、ゲームを取り入れるなど参加者の相互交流を図る。

問題 43 先天性視覚障害児の障害形態と発達に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 1歳ごろの早期から教育訓練を始めないと、発達が停滞する。
- 2 バーバリズムとは、適切な概念やイメージの裏づけがないままに、言葉だけ学習してしまう状態のことをいう。
- 3 視覚的には理解できないが、2歳ごろから視覚障害であることは自覚している。
- 4 代償機能とは、聴覚がより発達し、視覚機能の情報収集力を超えていくことである。
- 5 身体を揺するなどの自己刺激的な行動をとるのは、外界からの刺激が過剰なためである。

問題 44 認知症高齢者への対応に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 誤ったことをした時は、間違っただ点を指摘し、反省を促す。
- 2 感情が不安定なので、日常生活面で心理的刺激の効果は望めない。
- 3 認知機能が低下することから、知的な作業は負担となるので避ける。
- 4 生活の場面で、出来ることを見つけて、支援する。
- 5 発症には様々な原因があるが、原因の違いにより対応を変える必要はない。

問題 45 ピアジェ (Piaget, J.) の思考の発達段階に関する次の記述のうち、年齢の低い方から高い方へ並べたものとして、正しいものを一つ選びなさい。

- 1 前操作的段階——>具体的操作段階——>感覚運動段階——>形式的操作段階
- 2 前操作的段階——>形式的操作段階——>具体的操作段階——>感覚運動段階
- 3 感覚運動段階——>具体的操作段階——>前操作的段階——>形式的操作段階
- 4 感覚運動段階——>前操作的段階——>形式的操作段階——>具体的操作段階
- 5 感覚運動段階——>前操作的段階——>具体的操作段階——>形式的操作段階

問題 46 ピア・カウンセリングの技法に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 相手に自分の体験を話す際は、「私の場合は」といった話し方をする。
- B ピア・カウンセラーの役割は、仲間を指導することである。
- C ねらいとして「感情開放」が取り入れられている。
- D 「セッション」では、互いに対等の立場で交互に話し合う。

(組み合わせ)

- | | A | B | C | D |
|---|---|---|---|---|
| 1 | ○ | ○ | ○ | × |
| 2 | ○ | ○ | × | × |
| 3 | ○ | × | ○ | ○ |
| 4 | × | ○ | × | ○ |
| 5 | × | × | ○ | ○ |

問題 47 高齢者の認知機能の測定に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 ビネー式知能検査は、65歳以上の知能を測定するのに適している検査である。
- 2 横断法は、老化に伴う個人の知能の変化を追跡するのに適している検査である。
- 3 「MMSE」は、日常生活の様々な行動観察から知能を評価する検査である。
- 4 ウェクスラー式知能検査は、言語性と動作性の両面からの問題によって構成される検査である。
- 5 柄澤式「老人知能の臨床的判定基準」は、知能の低下を言語面から測定・判断する検査である。

(注) 「MMSE」とは、ミニ・メンタル・ステイト検査 (Mini-Mental State Examination) のことである。

問題 48 パーキンソン病によって起きやすい心理的影響に関する次の記述のうち、適切なものに○、適切でないものに×をつけた場合、その組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

- A 病名を告知されると本人だけでなく家族も同様に不安にかられる。
- B 今しかできないという焦る気持ちが強くなり、仕事や趣味に意欲的になる。
- C 歩行中に突然歩けないと助けを求めるのは、一種の甘えの表現である。
- D 「自分は役に立たなくなった」と感じて孤立感に陥る。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	×	×
2	○	×	○	×
3	○	×	×	○
4	×	○	○	×
5	×	○	×	○

家政学概論

問題 49 生活習慣病の予防と食事に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 糖尿病予防の食事として、糖類の摂取量を増やす。
- 2 高血圧症予防の食事として、カリウムの少ない食品を摂取する。
- 3 骨粗鬆症予防の食事として、リンを多く含む食品を摂取する。
- 4 虚血性心疾患予防の食事として、動物性脂肪を多く含む食品を摂取する。
- 5 動脈硬化症予防の食事として、ドコサヘキサエン酸（DHA）を多く含む食品を摂取する。

問題 50 食物繊維に関する次の記述のうち、適切なものを一つ選びなさい。

- 1 腸内細菌によって分解され、エネルギー源として利用される。
- 2 コレステロールの吸収を抑制する作用がある。
- 3 不溶性食物繊維に比較して、水溶性食物繊維の方が排便促進効果がある。
- 4 目標摂取量は、成人1日当たり10gとされている。
- 5 過剰摂取による下痢が起こっても、カルシウムや微量元素の体外排出には影響しない。

問題 51 高齢者の食事に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 唾液の分泌量が減少するので、調理形態を工夫する。
- 2 腸管の運動機能が低下するので、流動食を基本とする。
- 3 酸味の強い方がむせにくいので、合わせ酢などは酸味を強くする。
- 4 全がゆを作るには、米に2倍量の水を加えて弱火で約50分間加熱する。
- 5 汁物は、でんぷんなどでとろみをつけると、むせやすくなる。

問題 52 ノロウイルスによる食中毒に関する次の記述のうち、適切なものを一つ選びなさい。

- 1 人の腸内では増殖しない。
- 2 原因食品は鶏肉が多い。
- 3 食品以外の感染経路はほとんどない。
- 4 熱に強く、調理加工時の熱では死滅しない。
- 5 夏よりも冬に多く発生する。

問題 53 高齢者の衣生活に関する次の記述のうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 高齢者は、地味な色柄のものを選ぶのが良い。
- 2 既製のズボン丈や袖丈については、大半の高齢者に合うものが豊富に出回っている。
- 3 高齢者の衣服には、ゆとり量が少ないものが適している。
- 4 更衣動作に配慮し、開閉部やアームを工夫したものが着やすい。
- 5 型崩れの少ない、硬めの素材が適している。

問題 54 おむつに関する次の記述のうち、適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A おむつは、使用する本人にとって心理的な抵抗がある。
- B 高分子吸水ポリマーを用いた紙おむつは、おむつかぶれにはならない。
- C 吸収量の多い紙おむつの使用目的は、介護者の負担の軽減である。
- D 紙おむつは、利用者の体型、尿量に合わせて種類を選ぶ。

(組み合わせ)

- 1 A B
- 2 A C
- 3 A D
- 4 B D
- 5 C D

問題 55 高齢者に配慮した住環境に関する次の記述のうち、適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 寝室とトイレの温度差をなるべく少なくする。
- B 視力の低下に配慮して、照度基準よりやや暗い照明にする。
- C 転倒防止のため、高低差が小さい段差より大きい段差の解消を優先する。
- D 冷房の冷気は床面に溜まるので、足元が冷えないように注意する。

(組み合わせ)

- 1 A C
- 2 A D
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D

問題 56 「国民生活基礎調査（平成18年）」による世帯状況に関する次の記述のうち、適切なものの組み合わせを一つ選びなさい。

- A 単独世帯の構成割合は、10%以下である。
- B 高齢者世帯の平均所得は、約300万円である。
- C 高齢者世帯の所得の内訳は、約70%が公的年金・恩給である。
- D 暮らしが苦しいと答えているのは、高齢者世帯の40%以下である。

（組み合わせ）

- 1 A B
- 2 A C
- 3 B C
- 4 B D
- 5 C D